

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

神原ロジスティクス福山物流センターにおける
太陽光発電設備の導入による CO2 排出削減事業

排出削減事業者名：神原ロジスティクス株式会社

排出削減事業共同実施者名：カーボンフリーコンサルティング株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	神原ロジスティクス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	神原ロジスティクス福山物流センター
住所	広島県福山市箕沖町 109 番 5
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

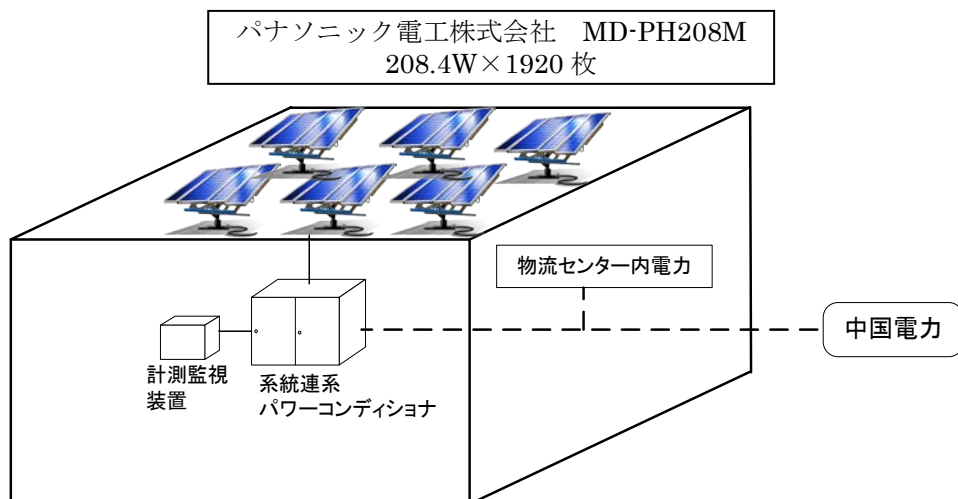
2.1 排出削減事業の名称

神原ロジスティクス福山物流センターにおける太陽光発電設備の導入による CO2 排出削減事業

2.2 排出削減事業の目的

物流センターの屋根に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行う。
太陽光発電により発電した発電量を敷地内で利用することで、温室効果ガス削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法



2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

- 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目
 (個別項目の欄において具体的に記載すること。)
 (旧事業者) 神原汽船株式会社
 (新事業者) 神原ロジスティクス株式会社

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

排出削減事業計画 4 項に沿って記載 (計画から変更あった場合は、実際の開始日に変更して記載)。
 2012 年 7 月 1 日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)
 2016 年 7 月 1 日 ~ 2020 年 6 月 30 日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
008	太陽光発電設備の導入

4.2 活動量

排出削減事業が活動量指標を採用している場合、排出削減事業計画 5 項に沿って記載。

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

太陽光発電システムの電力を消費する神原ロジスティクス福山物流センター内を範囲とする

5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画 7.1 項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
ELpv	太陽光発電システムの 発電量	kWh	2016 年度 229,115	電力計により計測し、データを電子媒 体に記録	変更なし
			2017 年度 305,739		
			2018 年度 277,647		
			2019 年度 312,061		
			2020 年度 96,253		
ELPvr	太陽光発電システムの発電 量のうち電力系統に 逆潮流した電力量	kWh	2016 年度 41,664	電力会社からの購買伝票を各テナン ト電気水道料金実績一覧へ記録	変更なし
			2017 年度 62,790		
			2018 年度 49,518		
			2019 年度 69,132		
			2020 年度 25,182		

CFelectricity	電力の二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /kWh	2016 年度	デフォルト値	変更なし
			0.000516		
			2017 年度		
			0.000496		
			2018 年度		
0.000463					
2019 年度					
0.000463					
2020 年度					
0.000463					

6 排出削減量の計算

承認排出削減事業計画において採用した算定式に基づき、モニタリング対象項目実測値等を反映した計算結果を記入すること。

注) 複数の方法論を採用している場合は、方法論ごとに排出削減量の計算結果を記入すること。

6.1 事業実施後排出量

(2016 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
0		0.000516	0
EM _{PJ}			0

(2017 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
0		0.000496	0
EM _{PJ}			0

(2018 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
0		0.000463	0
EM _{PJ}			0

(2019 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
0		0.000463	0
EM _{PJ}			0

(2020 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
0		0.000463	0
EM _{PJ}			0

(期間合計)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
0			0
EM _{PJ}			0

6.2 ベースライン排出量

(2016 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
187,451	kWh	0.000516	96.7
EM _{BL}			96.7

(2017 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
242,949	kWh	0.000496	120.5
EM _{BL}			120.5

(2018 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
228,129	kWh	0.000463	105.6
EM _{BL}			105.6

(2019 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
242,929	kWh	0.000463	112.5
EM _{BL}			112.5

(2020 年度)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
71,071	kWh	0.000463	32.9
EM _{BL}			32.9

(期間合計)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
972,529			468.2
EM _{PJ}			468.2

6.3 リークージ排出量

※本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は0である。

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	468.2
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	
リークージ排出量 (7.3)	LE	
温室効果ガス排出削減量	ER	468

7 省エネルギー量

注) 複数の方法論を採用している場合は、表を追加して方法論ごとにエネルギー使用量を記載すること。

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン －実績 (①－②)

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間(2016年7月1日 ～ 2020年6月30日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
		972,529		-